

令和5年度 第5学年 音楽 評価規準

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
〈導入〉 「夢色シンフォニー」 (随時扱い)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解する。	〈知-①〉 「夢色シンフォニー」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
	技能	各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「夢色シンフォニー」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	歌声、旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 歌声、旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「夢色シンフォニー」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 「夢色シンフォニー」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
〈スキルアップ〉 「花のおくりもの」 (毎時扱い)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。	〈知-①〉 「花のおくりもの」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	技能	呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 呼吸及び発音の仕方に気を付けて「花のおくりもの」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	歌声や旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 歌声や旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「花のおくりもの」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	全員で表現を揃えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 全員で歌唱表現を揃えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈スキルアップ〉 「クラップ フレンズ」 (毎時扱い)	知識	曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解する	〈知-①〉 「クラップ フレンズ」の曲想と、強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。		○		
	技能	拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。	〈技-①〉 拍に合わせ全体の響きを聴いて「クラップ フレンズ」を演奏する技能を身に付ける。		○		
	思考・判断・表現	手拍子の強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 手拍子の強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、自分たちの演奏する「クラップ フレンズ」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	全員で表現を揃えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 全員で表現を揃えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「こいのぼり」 (共通教材) (2時間扱い・4月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。	〈知-①〉 「こいのぼり」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	技能	呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「こいのぼり」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律のもつリズム、旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 「こいのぼり」の旋律のもつリズム、旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 「こいのぼり」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
和音や低音のはたらき (4時間扱い・4~5月)	知識	曲想と音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
	技能	ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		
	思考・判断・表現	低音や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	低音や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
	主体的に学習に取り組む態度	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
声のひびき合い (6時間扱い・6~7月)	知識	曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。	曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			○
	技能	各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。	声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。	○			○
	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな形態の合唱を聴くことや、自分たちの表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	いろいろな形態の合唱を聴くことや、自分たちの表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ 楽器名人〉 「星笛」  (毎時扱い・6~7月)	知識	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解する。	〈知-①〉 「星笛」の曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。		○		
	技能	各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	〈技-①〉 各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて「星笛」を演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	リコーダーの音色やフレーズ、旋律どうしの関わりを聴き取り、そのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 リコーダーの音色やフレーズ、旋律どうしの関わりを聴き取り、そのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、「星笛」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	リコーダー・アンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 リコーダー・アンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 和音に合わせて せんりつをつくらう  (2時間扱い・7月)	知識	旋律と和音の関わり、旋律のまとまりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解する。	〈知-①〉 旋律と和音の関わり、旋律のまとまりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	〈技-①〉 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	旋律や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 旋律や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	I IV Vの和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 I IV Vの和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
オーケストラのみりよく (3時間扱い・9月)	知識	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	思考・判断・表現	楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見出し、曲全体を味わって聴く。	楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	オーケストラの音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	オーケストラの音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「赤とんぼ」 (1時間扱い・9月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。	<知-①> 「赤とんぼ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	技能	呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	<技-①> 呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「赤とんぼ」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	<思-①> 「赤とんぼ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の抑揚や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	<主-①> 「赤とんぼ」の歌詞の抑揚や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
音楽の旅 (6時間扱い・10~11月)	知識	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
	技能	呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○	○		
	思考・判断・表現	いろいろな国の音楽の様々な旋律や声、楽器の音色、音の重なり、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりする。	いろいろな国の音楽の様々な旋律や声、楽器の音色、音の重なり、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりしている。	○	○		○
	主体的に学習に取り組む態度	我が国や諸外国に伝わる音楽や表現、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	我が国や諸外国に伝わる音楽や表現、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
豊かな表現を求めて (4時間扱い・11~12月)	知識	曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。	曲想と、拍とその流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	技能	各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づ 音 楽 く り	鑑賞
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で 音楽をつくろう  (2時間扱い・12月)	知識	多様な声の表情や強弱について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解する。	〈知-①〉 多様な声の表情や強弱について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。			○	
	技能	設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	〈技-①〉 設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	多様な声の表現を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	〈思-①〉 多様な声の表現を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	詩をもとに声で音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 詩をもとに声で音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づ 音 楽 く り	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「スキーの歌」 (共通教材)  (2時間扱い・1月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解する。	〈知-①〉 「スキーの歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	技能	各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて「スキーの歌」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 「スキーの歌」の旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 「スキーの歌」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・1~2月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴く。	楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	さまざまな曲の特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	さまざまな曲の特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
わたしたちの表現 〈選択A 器楽〉 (3時間扱い・2~3月)	知識	曲想と音楽の構造との関わりを理解する。	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。		○		
	技能	各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
わたしたちの表現 〈選択B 歌唱〉  (3時間扱い・2~3月)	知識	曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解する。	曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解している。	○			
	技能	各声部の歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 ずれの音楽を楽しもう  (2時間扱い・3月)	知識	リズムのずれによる音楽の縦と横との関係について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解する。	〈知-①〉 リズムのずれによる音楽の縦と横との関係について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。			○	
	技能	音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。	〈技-①〉 音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	ずれによるリズムのかみ合わせさを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽の構成の面白さを味わって聴いたりする。	〈思-①〉 ずれによるリズムのかみ合わせさを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽の構成の面白さを味わって聴いたりしている。			○	○
	主体的に学習に取り組む態度	ずれによるリズムのかみ合わせさに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 ずれによるリズムのかみ合わせさに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈変奏曲を楽しもう〉 ピアノ五重奏曲「ます」 第4楽章から  (3時間扱い・随時)	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	〈知-①〉 「ます」第4楽章の各変奏の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	思考・判断・表現	主題の変化や伴奏の動き、楽器どうしのかかわり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴く。	〈思-①〉 「ます」第4楽章の主題の変化や伴奏の動き、楽器どうしのかかわり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目